



環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report

2015



[基本方針]

安全衛生・環境の確保は、企業活動の基盤であり社会的責任(CSR)です。
企業活動すべてに於いて人間尊重・地球にやさしい環境づくりをします。

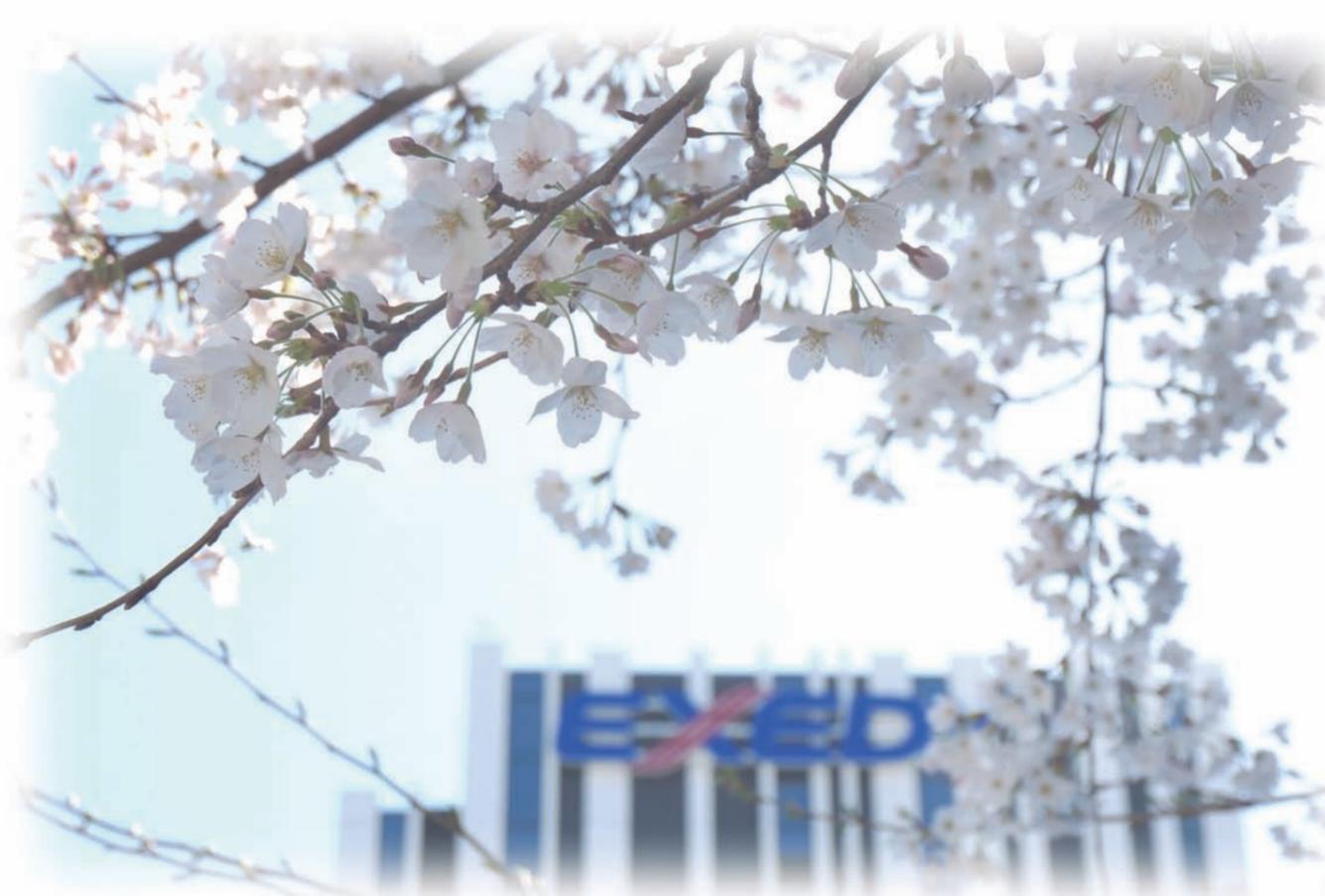
[環境方針]

1. 安全なくして企業の存続はなし、従業員一人ひとりが、ゼロ災に向け、ルールを遵守します。
2. 職場はピカピカ・5S5T(※1)を維持改善し、職場のあらゆる危険・有害要因を排除する活動に努め、安全衛生管理規程をもとに活動し、2-2-2(※2)のスピードで継続的に改善をします。
3. 異常発生時は「止める、呼ぶ、待つ」を徹底します。
4. 生産・製品・サービスの分野において、環境管理規程をもとに活動し、環境問題の未然防止と継続的に改善をします。

※1 5S5T: 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰) 5定(定位、定量、定時、定姿、定質)の略
※2 2-2-2: 2時間、2日、2週間など2の単位で納期を守れるようにしたルール

制定 2015年4月1日

代表取締役社長 久川秀仁



CONTENTS

安全衛生・環境方針…………… 1
 会社概要…………… 2
 環境マネジメント…………… 3～4
 生産・製品における環境保全活動…………… 5～6
 生産・製品におけるCO₂削減への取組み実施例…………… 7～8
 社会との共生…………… 9～10

■対象期間

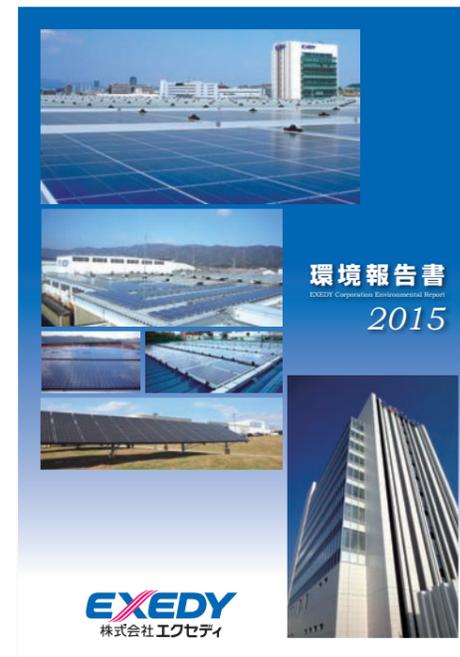
2014年度(2014年4月1日～2015年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場・広島工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

■編集方針

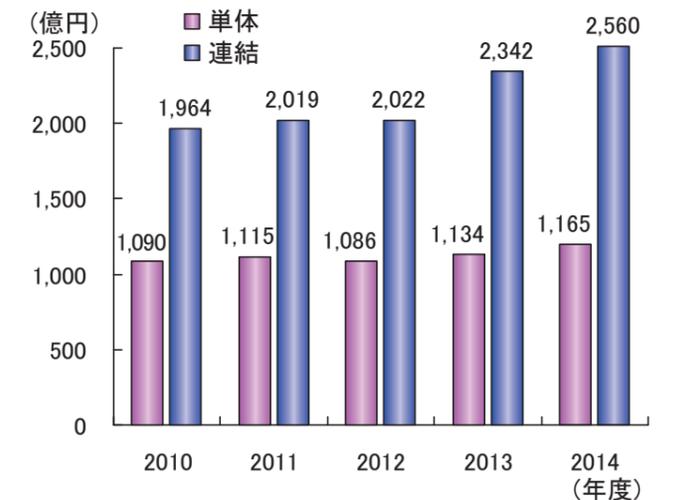
社会との共生では、社会貢献等の取り組み事例について紹介しています。
本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



表紙の写真はエクセディグループ内に設置された太陽光発電システムです。
当社は企業活動の全ての面において、今後も地球に優しい環境づくりに努めて参ります。

会社概要

商号 株式会社エクセディ
 英文社名 EXEDY Corporation
 設立 1950年(昭和25年)7月1日
 資本金 8,284百万円
 代表取締役社長 久川秀仁
 グループ社員数 約1万7千名
 売上高推移 (数値は2015年3月31日現在)



国内事業所 本社 (大阪府寝屋川市)
 上野事業所 (三重県伊賀市)
 川越工場 (埼玉県川越市)
 広島工場 (広島県東広島市)

連結対象会社

国内 北海道・岡山等 計11社
 海外 欧米・アジア等 計28社
 総数 39社(持分法適用会社含む)

主要製品

AT事業: 自動変速装置部品



MT事業: 手動変速装置部品



TS事業: 建設・産業車両、農機・商用車用装置部品



環境マネジメント

■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会(EGC: EXEDY Global Clean)を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



2014年度実績と2015年度目標

項目	2014年度		2015年度
	目標	実績	目標
省エネ活動 <small>※3</small> 省エネ法による 原単位: 前年度比1%レス	原単位: 58.7トン-CO ₂ /億円	原単位: 前年度比2.2%減 59.3→58.0トン-CO ₂ /億円	原単位: 57.4トン-CO ₂ /億円
<small>※4</small> 3Rの推進 「新ゼロエミッション」達成	原単位: 2.95トン/億円	原単位: 前年度比20.2%減 3.01→2.40トン/億円	廃棄物原単位: 2.38トン/億円
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	<small>※5</small> PRTR法に基づく管理	<small>※6</small> 行政及び部工会へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	低燃費製品量産開始	量産納入済み	低燃費製品揃え開発
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム鉛廃止推進の継続	6価クロム順次廃止 フタル酸可塑剤工程変更準備完了	REACH規則対応 製品化学物質管理体制強化

※3 原単位: CO₂排出量/売上高 ※4 3R: リデュース・リユース・リサイクル ※5 PRTR法: 化学物質の排出・移動量届出制度 ※6 部工会: 日本自動車部品工業会

■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2014年度 環境保全コスト

(単位: 百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	106	47	雨水分離槽補強, 浄化設備補修
地球環境保全	194	3	太陽光発電パネル・空調負荷軽減システム導入
資源循環	3	85	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	0	14	環境月間イベント, ISO更新審査
研究活動	0	134	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	17	9	事業所内の緑化, 防災公園整備
合計	320	292	
総計		612	

環境保全に伴う経済効果と物量効果

< 経済効果 >

(単位: 百万円)

効果項目	2012年度	2013年度	2014年度
CO ₂ 削減の低減	36	0	68
廃棄物処理費用の低減	0	3	4
有価物の売却	885	743	706
合計	921	746	778

< 物量効果 >

効果項目	2012年度	2013年度	2014年度
産業廃棄物排出量 <small>※7</small>	164トン	52トン	65トン
CO ₂ 排出量	64.9千トン-CO ₂	67.2千トン-CO ₂	67.6千トン-CO ₂

※7 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001更新審査

2015年2月9日～13日の5日間にわたり、UL DQS JapanによるISO14001更新審査が行われました。今回の審査では「省エネ」及び「資源循環」に基づいた活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<< 審査及び監査結果 >>

年度	年度	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会
		2014	更新審査 (2015/2月)	0件
	内部環境監査 (2015/1月)	1件	3件	24件

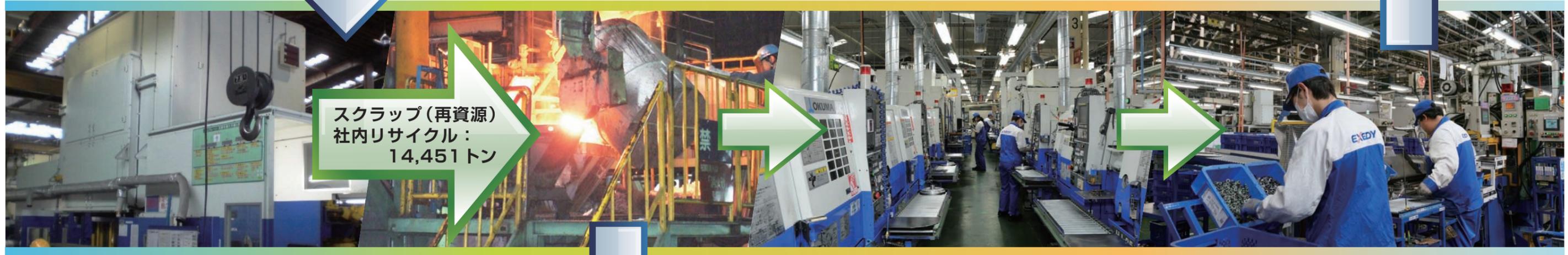
生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

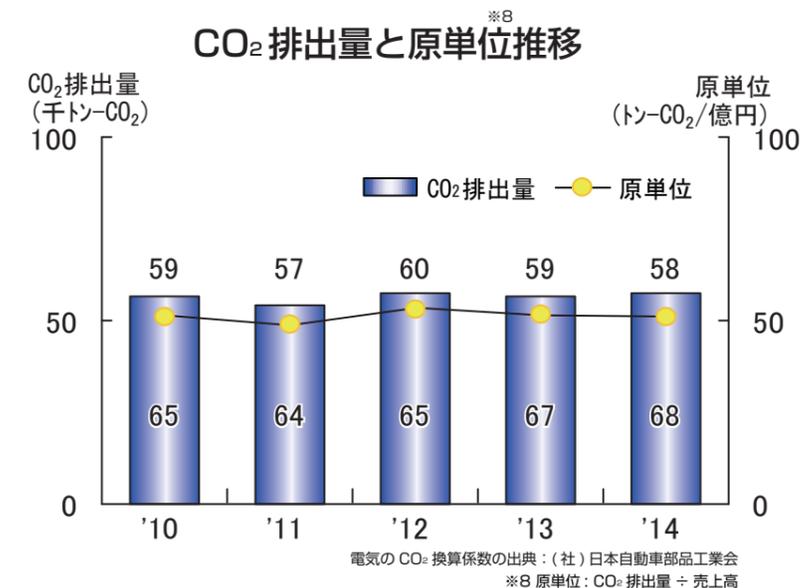
エネルギー	購入材料	水資源
<p>電 力: 140,691 千 kWh</p> <p>灯 油: 222kℓ</p> <p>ガソリン: 106kℓ</p> <p>軽 油: 259kℓ</p> <p>都市ガス: 88 千m³</p> <p>L P G: 738 トン</p>	<p>鋼 材: 121,933 トン</p> <p>鑄 物: 12,296 トン</p> <p>鍛 造: 14,663 トン</p> <p>摩 擦 材: 8.41 百万枚</p>	<p>上 水: 138 千m³</p> <p>工業用水: 149 千m³</p>



製 品
年間出荷台数:
1600万台



スクラップ(再資源)
社内リサイクル:
14,451 トン



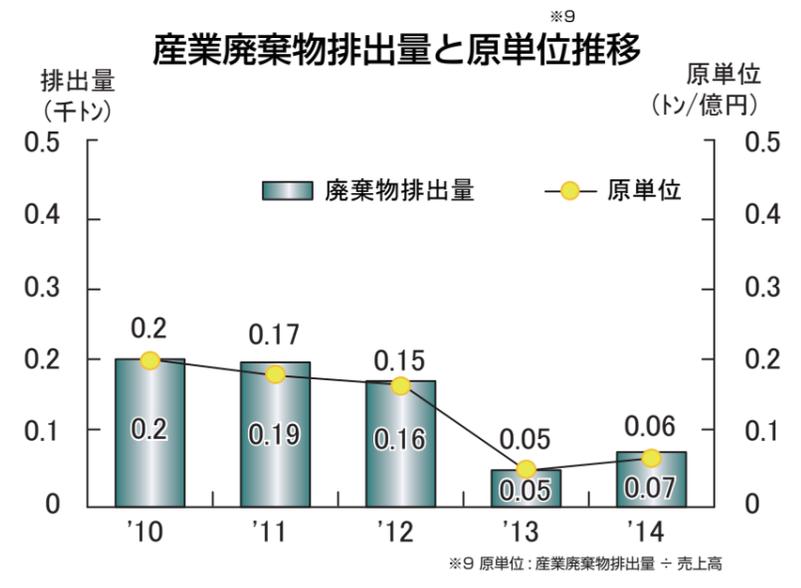
Output

CO₂ 排出
67,613 トン

外部委託
再資源化物
34,866 トン

外部委託
埋め立て
46 トン

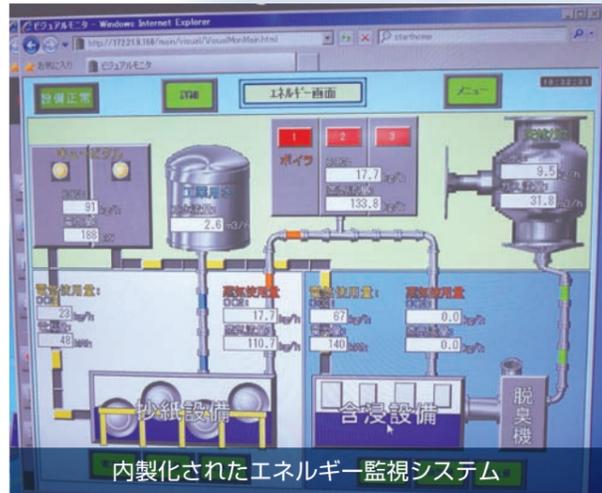
外部委託
中間処理
20 トン



生産・製品におけるCO₂削減への取組み 実施例(2014年度)

当社の本業であるものづくりの中で、素重、取りしろ削減、軽量化を進めるとともに、「省エネ7つの着眼点※10」に基づき、省エネ・CO₂削減に向けた施策を進めています。

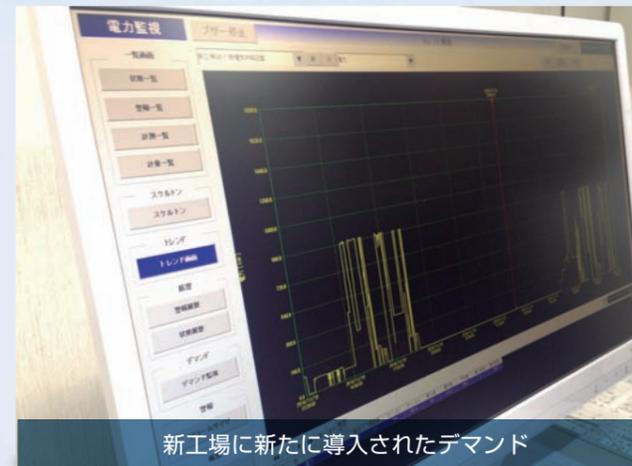
※10 省エネ7つの着眼点：「きめる」、「とめる（やめる）」、「なおす（もどす）」、「へらす（さげる）」、「わかる」、「かえる」、「ひろう」



■きめる・とめる

🌿 使用エネルギーの見える化による電力削減

製造工程内で使用するエネルギーを全て見える化し、正常・異常を一目で見てわかるようにしました。これによりエネルギーロスの削減が可能になりました。
(ダイナックス)



■へらす

🌿 デマンド予測活用による電力削減

新工場に導入されたデマンド監視システムを活用し、予測値により電気炉の自動調整が出来るようになりました。これにより使用電力の抑制が可能になりました。
(エクセディ 铸造)

■なおす

🌿 メンテナンスカレンダーによる空調電力削減

メンテナンスカレンダーを活用することにより、定期的な空調機器の点検実施を行い、正常な状態で稼働させることで使用電力の削減に努めました。
(AT 製造本部)



■かえる

🌿 天井照明のLED化による電力削減

天井照明を以前使用していた高効率照明からLED照明へ変更しました。これにより使用電力を削減しました。
(生産技術本部)



■わかる

🌿 エリア別照明点灯による電力削減

使用頻度により照明点灯エリアを分け、不使用時の消灯を実施しました。これにより使用電力を削減しました。
(M&T 製造本部)



■ひろう

🌿 太陽光発電パネル設置

本社生産技術工場及び上野事業所TCセントラル工場、川越工場の屋上に計450kWの太陽光発電パネルを設置しました。
(本社 / 上野事業所 / 川越工場)

人のいないエリアは確実に消灯

上野事業所に設置された太陽光発電パネル

社会との共生

～歩調をあわせて環境・社会貢献活動を～

～社会貢献情報～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まり、従業員一人ひとりが環境問題に対する認識を一層高める必要があります。また良き企業市民であるために、地域社会への継続的貢献は不可欠です。エクセディグループでは各社の状況に即した活動を展開しています。

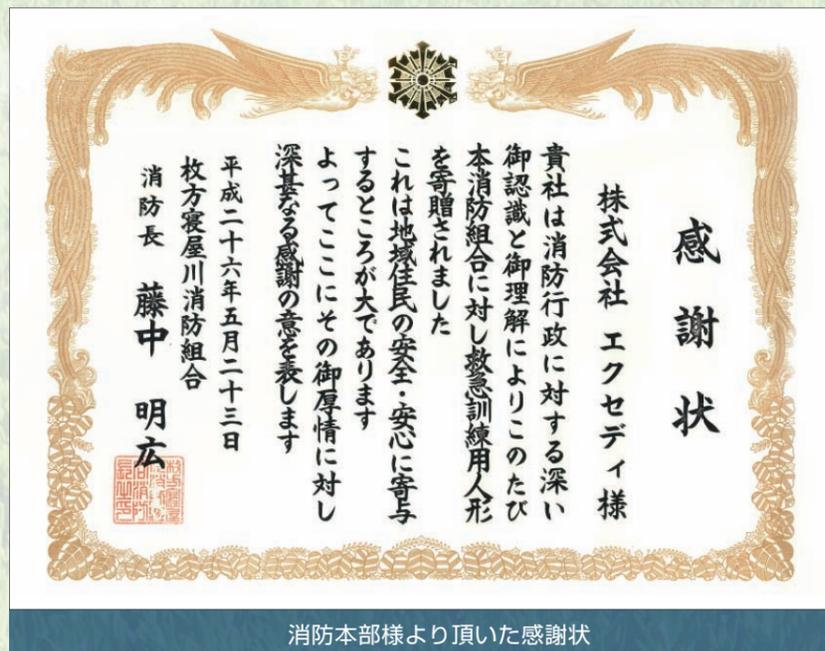
🌱 キッズ ISO14001 出前教育開始

エクセディ（三重県）では、三重県の取り組みであるキッズ ISO14001 の取り組みへ賛同し、伊賀市立新居小学校協力の元、6年生 35 名に対し、環境の出前教育を実施しました。ご家族から「子どもがイキイキと作戦を実行している姿をみてキッズ ISO をやってよかった」などの感想を頂き、今後も継続して実施します。



🌱 救命訓練資機材寄贈で感謝状

エクセディ（大阪府）は、2014年5月枚方寝屋川消防組合消防本部様より、異物除去法訓練用の人形寄贈に対して、感謝状をいただきました。今後も地域へ貢献できるよう尽力していきます。



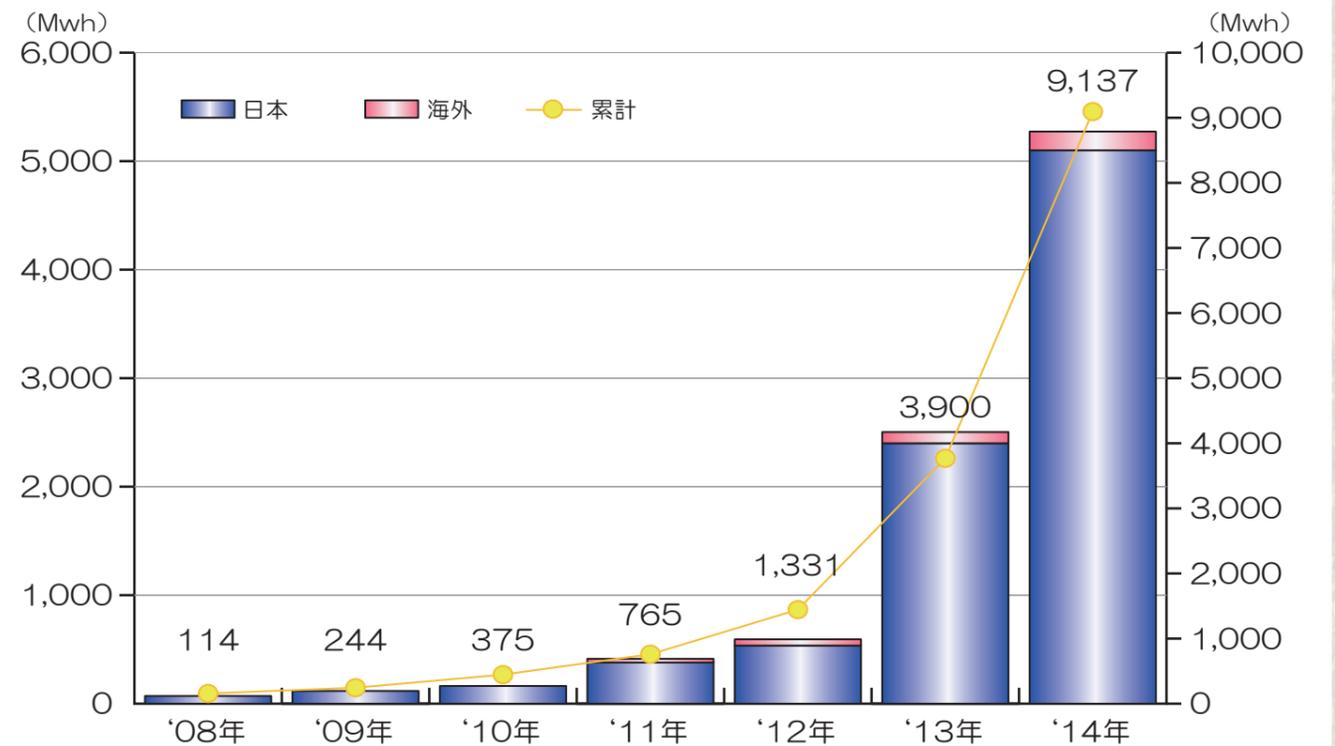
🌱 専用水道設置による災害時、飲料水の確保が可能に

エクセディ（三重県）では専用水道施設を導入し、工場内にろ過装置や、非常用発電装置を備えています。災害時にも飲料水として、利用可能となり、今後は災害時支援協定の締結を目指します。



🌱 太陽光発電による社会貢献

エクセディグループでは2008年2月より設置を開始し、現在では国内外17カ所に設置を完了し、再生可能エネルギーを通してCO2削減に取り組んでいます。



エクセディグループの太陽光発電量の推移

消防本部様より頂いた感謝状



株式会社 エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先：管理本部 安全衛生環境部 環境・健康管理チーム

編集責任者 大迫 修

作成者 松本 かよ 望月 伸二 中村 正憲 前本 野歩

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行：2015年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com>



このカタログの印刷は環境にやさしい
環境配慮大豆インキを使用しています。



この印刷物に使用している用紙は、
森を元気にするための副資と間伐材の
有効活用で役立ちます。

2015.4. 300 594 Printed in Japan